The First Anniversary Special Issue 2016

PixSis
ピクシス

第１号《創刊記念号》

特集「障がいを語る」

人生×迷っている人へのメッセージ

一般社団法人 伸楽福祉会

SHINGAKU

TAKE FREE

フリーペーパーです
一度読んでください。

発行：一般社団法人　伸楽福祉会　ジョブエル

ジョブエル代表より機関紙発刊の辞

今の世は混沌としています。
そういう中で、障がいのある方々がまっすぐ生きていくにはどうすればよいのか？
それは自分自身を信じて個性をはぐくむことに他なりません。
これさえしっかりしていれば、どんな時代になろうと、まっすぐに生きていく事ができます。そうして生きる人が、どのような著名人よりも数千億倍も人間として尊いと確信します。皆様方と共々に明るく朗らかに伸楽福祉会　ジョブウェルの大道を力強く歩んでまいります。

とある路地を行くと看板がある

明石は、一般に子「午線のまち」と言われています。

その意味は、「日本標準時の基準となる東経１３５度子午線上の」という事です。

特集 Feature

訓練生からの声を聞いて見て

ジョブエルも開所して約半年。自己紹介のほかにいろいろ文章を書いてみたいという人が多そうです？

教育・その意義を考え直す

ペンネーム　テミス

私は、これまで学校教育を受ける中で様々な疑問を持ってきました。個性を無視した画一的な教育、偏差値重視の進路選択、事なかれ主義の教師たち。挙げればキリがありません。その結果として、いじめ、モンスターペアレント、不登校や引きこもりなどの問題が深刻になってきているように思います。お話したいことは数多くありますが、現時点では主に大きく分けて３点をこの記事で皆さんと考えて生きたいと思います。

１　平等の中の不平等
２　モンスターペアレントの言い分
３　教育をやり直す機会

今一度、学校教育について考える機会を設けたいと思います。

自己紹介

■ペンネーム　TERU
ジョブエルで訓練を受けております【TERU】と申します。

現在 55 歳です。
趣味は、釣り・空手・読書・音楽です。
　現在ジョブエルでは、社会復帰を目指してメンバーとのコミュニケーション、協調性を重視し、社会に復帰した際、組織の実践力になるようにメンバー全員が一丸となって頑張っております。

私の病歴

■ペンネーム　ブルー
5 年前のある日のことです。ひとりで自分の部屋にいる時、キーンという耳鳴りがして人の話し声が聞こえてきました。ぼそぼそと何を言っているのかは分かりませんでしたが、間違いなく人の話し声でした。テレビはつけていないし周りには誰もいないし一体自分に何が起こっているのかまったく分かりませんでした。その日は数分でおさまったので少し疲れているのかもしれないと思い早めに眠りました。

翌日は朝から耳鳴りがして人の話し声が聞こえるようになりました。仕事には行けなくなりました。そして誰にも相談できず、ただただ我慢しました。そんな状態が 1 週間ほどつづきました。両親が異変に気付き病院につれて行ってくれました。統合失調症と診断され即入院でした。蓄えのない自分は入院費用が払えず、両親が払うこととなりました。すでにリタイヤして年金暮らしの両親に払ってもらうのは心苦しかったです。

「もうダメだ」「もう終わった」と思いました。事態が好転したのは入院 8 カ月ぐらいの頃でした。主治医が変えてくれた薬が劇的に効き耳鳴りも話し声もまったく聞こえなくなりました。そして 1 年で無事退院しました。

1 年間、実社会から離れていたことは自分で考えていたより大きなブランクでした。例えば、階段ののぼりおりが出来なくなっていました。病院内はバリアフリーで段差がまったくなかったためです。コンビニに行けば商品のカラフルさに目を奪われて選ぶことが難しくなっていました。病院内の白を基調としたモノトーンに目が慣れていたからです。実社会に慣れるためデイケアに通うことにしました。そこで少しずつ 1 年間のブランクを埋めていきました。

そうして体調がもどるにつれ「社会復帰がしたい」と思うようになりました。そこで出会ったのがジョブエルでした。ジョブエルに通うようになって自分の将来について考えることが出来るようになりました。あきらめていたことに再挑戦するきっかけを与えてくれました。今は毎日が充実しています。

こんにちは、

■ペンネーム真田　卓と申します。　57 歳です。好きな事は読書（履歴書用）、ジャズを聴くこと、電車（最近まで隠していた）など。アスペルガー症候群の人です。
見た目は年よりふけて見える？（ご想像に任せます）

　年寄りの擬態をして電車は優先席に、というズルをよくします。

　さて、短期記憶障がいのため、よく切符をなくします。別々の駅で失敗するので駅員にはツラは割れてません。コミュニケーション力が弱いので都度、場面 (ばめん) 緘黙 (かんもく) してますが、思慮深く見えるらしいです。なので、障がいがあるように見えないらしい。（聴覚障がいの方も普段は気がつかない方がおおいように！）次回からはこんな「見えない障がい」について私見を書いてみたいと思います。

就労準備プログラム　自立訓練（生活訓練事業）
ジョブエル

《事業概要》
対象：発達しょう害、精神しょう害でお悩みの 18 歳以上の方。
・社会参画を意欲的に目指している方。
・通所可能な方。
運営
・一般社団法人　伸楽福祉会
自立訓練（生活訓練）
連絡先
〒673-0875　兵庫県明石市大蔵天神町８－４
TEL　078-777-2335
担当者　山下　まで

クレジット…

一番苦労した点が、実はネーミング作りでした。編集部員が、全員障がい者ですので、ネーミングには「重い、思い」があります。

実は３つ出たんですヨ。
● スペシャルニーズ→読み手も書き手もスペシャルニーズ。
チャレンジド（も出た）よりも響きがスマート
● トライズド→何事にも諦めず挑戦していく。
●ピクシス（羅針盤）→ＰＩＸＳＩＳ読む人の人生を描く。

創刊号：編集部
ペンネーム：ニンニ、HERO, ブルー、テミス、TERU、真田　卓＆ジョブエルの指導員の皆さま＆どんどん増えつつある「ジョブウェル」の仲間一同で作りました！！